

島根原子力発電所の運転状況（平成22年3月分）

中国電力担当分

【1号機】：3月31日に、自主的な点検のため発電を停止。
 【2号機】：3月18日に、第16回定期検査のため発電を停止。

1 運転保守状況（中電データ）

号機	炉型	定格電気出力	営業運転開始日	3月の設備利用率(%)	3月の発電電力量(万kWh)	4月19日の状況	備考
1号機	BWR	46万kW	S49.3.29	100.8	34,487	計画外停止中 (H22.3.31～)	別紙1のとおり
2号機	BWR	82万kW	H1.2.10	55.0	33,551	計画停止中 (H22.3.18～)	

2 安全協定第9条で規定するLCO逸脱事象（3月19日～4月19日）

該当なし

3 安全協定第10条で規定する異常事象（3月19日～4月19日）

別紙2のとおり

4 放射性固体廃棄物管理状況（中電データ）

3月末現在

	3月末保管量(前月比増減量)	3月発生量	3月処理量 ^{※2}	前月末保管量
ドラム缶保管量(本)	22,611(▲165)	232	▲397	22,776
その他の種類の保管量(本相当)	3,888(▲10)	24	▲34	3,898
合計	26,499(▲175) ^{※1}	256	▲431	26,674

※1 保管能力：35,500本

※2 処理方法：減容処理
焼却処理

5 使用済燃料貯蔵状況（中電データ）3月末現在（単位：体）

	1号機	2号機	合計
燃料プール貯蔵量	322	1,824	2,146
貯蔵全容量	1,140	3,518	4,658
容量管理容量	660	2,818	3,478

管理容量＝全容量－（1炉心分^{※3}＋1取替分^{※4}）

※3：1号機 400体 2号機 560体

※4：1号機約80体 2号機約140体

島根県担当分

6 放射性廃棄物の放出状況（中電データ）

今月までの放出実績は年間放出管理目標値等を下回っている。

（単位：Bq）

	放射性気体廃棄物(3月)		放射性液体廃棄物(3月)	
	放射性希ガス	放射性ヨウ素(I-131)	トリチウムを除く	トリチウム
原子炉施設合計(今年度累計)	ND ^{※1} (ND)	ND ^{※2} (ND)	ND ^{※3} (ND)	2.6 × 10 ¹⁰ (2.2 × 10 ¹¹)
号機別 ^{※5}				
内訳				
1号機	ND ^{※1}	ND ^{※2}	ND ^{※3}	2.3 × 10 ¹⁰
2号機	ND ^{※1}	ND ^{※2}	ND ^{※3}	3.1 × 10 ⁹
年間放出管理目標値	8.4 × 10 ¹⁴	4.3 × 10 ¹⁰	7.4 × 10 ¹⁰	7.4 × 10 ¹² ^{※4}
サイトバンカ建物	—	ND ^{※2}	—	—

※1：検出限界値 約2 × 10² Bq/cm³以下

※2：検出限界値 約7 × 10⁹ Bq/cm³以下

※3：検出限界値 約2 × 10² Bq/cm³以下
(⁶⁰Coで代表)

※4：年間放出管理の基準値を示す

※5：液体廃棄物については放水口別内訳

(排気筒モニタ値及び放水路水モニタ値)

(単位：cps)

		3月分			先月の実績			安全協定で定める 通報基準値
		最小	平均	最大	最小	平均	最大	
排気筒モニタ	1号機	5.2	6.0	6.9	5.2	6.0	7.1	500 ^{※6} (1,000 ^{※7})
	2号機	2.9	3.3	3.9	2.8	3.4	4.0	500 ^{※6} (1,000 ^{※7})
放水路水モニタ	1号機	1.9	2.2	3.4	1.9	2.2	3.3	7 ^{※6} (70 ^{※7})
	2号機	3.7	4.3	5.6	3.6	4.2	6.1	8 ^{※6} (80 ^{※7})

※6：この状態が10時間続くとき

※7：この状態になったとき

7 モニタリングポストの測定結果（敷地境界モニタリングポスト及び環境放射線情報システム）（中電データ、県データ）

（単位：nGy/h）

	敷地境界モニタリングポスト(中電管理分)						環境放射線情報システム(県管理分)												
	①	②	③	④	⑤	⑥	西浜	佐田	御津	古浦	深田北	片岡	北講武	佐陀本郷	末次	大芦	上講武	手結	
平均値	24	29	35	24	31	30	51	42	42	30	45	38	32	34	39	40	44		
最高値	52	55	64	52	63	53	87	68	62	73	67	60	57	94	72	69	66		
月平均の変動幅	19～23	23～27	30～34	21～25	28～31	26～29	平常の変動幅(上限)		86	69	68	57	66	64	60	58	66	72 [※]	70
過去の最大値	82	79	115	105	130	100	前年度までの最大値		164	129	108	106	112	114	126	192	127	120	111

平常の変動範囲(上限)を超えた値は、降水の影響と推定される。

※上講武は平成19年8月より移設したため、参考値

(参考) 定例プレスでは掲載しない情報の例示

(1) 環境放射線及び温排水測定結果・・・「環境放射線等調査結果報告書」(四半期報)で公表する。

(2) 地震発生時の発電所の状況連絡・・・震度3以上の地震が発生した場合、中国電力から各報道機関へ直ちに連絡することとなっている。

担当：島根県 総務部 消防防災課 原子力安全対策室
 電話 0852-22-5278 FAX 0852-22-5930
 中国電力(株) 島根原子力本部 広報部
 電話 0852-82-9093 FAX 0852-82-3514